

涼をもとめて 南信州 滝情報

自然に恵まれた南信州には、清らかな水と変化にとんだ地形によって、清涼感あふれる滝が数多くあります。春の若葉・夏の水しぶき・秋の紅葉・冬の氷柱など四季折々の顔が楽しめます。自動車で行くまで行ける場所から、本格的な沢登りの支度が必要な滝まで色々ありますので、お出かけ前に市町村役場・観光案内所などにご確認ください。
※記載の時間は駐車場までのおよその所要時間です。

滝名	所在地	河川名	特徴	問い合わせ先
唐沢の滝 (カラサワノタキ)	飯田市 千代	万古川	万古溪谷の最上流、秘境という言葉が似合う山中にある滝 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 45分	飯田観光協会 0265-22-4851
黄金ヶ滝 (コガネガタキ)	飯田市 竜丘	白井川	白井川秘境の檜や杉などの木々に覆われた山間の岩盤から、広い滝壺に落ちる姿の美しい小型の滝 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 10分	
大釜の滝 (オオガマノタキ)	飯田市 南信濃八重河内	梶谷川	滝は二段になって落下し、大釜不動尊を祀る。神秘性に満ちた大滝は古来より雨乞祈願の聖地でもありました。 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 90分	遠山郷観光協会 0260-34-1071 
信玄滝 (シンゲンダキ) 右写真	飯田市 南信濃南和田	柳木瀬沢	滝は豪快に滝つぼに水を落とし、ごう音と共にしぶきがあたり一面を覆う。武田信玄が一休みし、顔を洗った所です。 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 55分	
雨乞の滝 (アマゴイノタキ)	松川町 上片桐	片桐松川	この滝は、昔から村民が日照りが続いた時期に農作物に被害が出ないよう、この滝に雨乞いの祈願を行った滝 沢を登って行くので長くつが必要になります。 ◆中央道松川 IC 車 10分	松川町産業観光課 0265-36-7027 
不動滝 (フドウタキ) 右写真	高森町 牛牧	大島川	信州の溪谷・滝 100 選にも選定されている南信州最大規模の滝です。落差 50m、幅 10mほどあり、その姿は壮観そのものです。 ◆中央道松川 IC 車 25分	高森町産業課 0265-35-9406
不動の滝 (フドウノタキ)	阿南町 南条	小見遠川	天龍村との境を流れる小見遠川にあり、朝霧のかかった不動の滝は大下条八景とも呼ばれています。幅広い岩盤から細くゆったりと流れ落ちる不動の滝 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 35分	阿南町振興課 0260-22-4055
暮白の滝 (クレシロノタキ)	阿智村 智里	園原川	夕暮れに滝がほの白く見えることから“暮白の滝”とよばれる。滝見台の上から願いを込めて皿を投げると望みが叶うと言われています。 ◆中央道園原 IC 車 5分、飯田山本 IC 車 25分	昼神温泉ガイドセンター 0265-43-3001
姿見不動滝 (スガタミフドウタキ)	阿智村 下清内路	不動沢	岩壁に伝って流れる水と黒く光る岩とのコントラストが不動明王の姿に見えることから、その名が付けました。 ◆中央道園原 IC 車 20分	阿智村役場 清内路振興室 

右写真			分 飯田山本 IC 車 20 分	0265-46-2001
-----	--	--	------------------	--------------

滝名	所在地	河川名	特徴	問い合わせ先
大滝 (オオタキ)	平谷村 うつぼ	フロヤ沢	林道売木うつぼ線より望むその姿は豪快で平谷一の名瀑。遊歩道も整備されしぶきを浴び間近で見れます。 ◆中央道飯田山本 IC 車 30 分	平谷村産業建設課 0265-48-2211
つたの滝 (ツタノタキ)	根羽村 取手	小川川	旧国道砦橋のすぐ下流にあり、高さ約 15m の根羽一の大きな滝。滝の周囲は藤や紅葉が美しい。 ◆中央道飯田山本 IC 車 45 分	根羽村振興課 0265-49-2111
瀬戸ノ滝 (セトノタキ)	 売木村 長下	売木川	丸畑溪谷の下流に位置し、四季折々の美しさは、旅人の足をとどめる程。日本一美しいと言われる親子のポットホールがあり、水量が少ない時は近くへ行ってみる事ができる。 ◆中央道飯田山本 IC 車 50 分 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 45 分	売木村観光課 0260-28-2000
精心の滝 (ジョウシンノタキ) 別名:浄心の滝	天龍村 平岡	精心沢	古くから信仰の滝として崇められ、滝の横には不動尊がまつられています。 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 45 分	 天龍村振興課 0260-32-2001
関小屋の滝 (セキゴヤノタキ)	泰阜村 川端	万古川	関小屋沢との合流点にある滝。沢の中流に桂の大木があり、その根元に山の神を祀っています。 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 45 分	泰阜村振興課 0260-26-2111
伝説七滝 (デンセツナタキ)	泰阜村 唐笠	矢筈川	唐笠の矢筈川下流域、天龍川に落ち込む矢筈川に多くの滝や滝壺を連ねる、上の白糸の滝から下って添水の滝まで、スリルある不動滝 ◆三遠南信道天龍峡 IC 車 15 分	
禍誤除けの滝 (カゴヨケノタキ) 右写真	喬木村 氏乗	小川川	禍が起らないように祈って参道を行き来したという由来があります。 ※加護受の滝と呼ばれていた頃もありました。 ◆中央道飯田 IC 車 45 分	 喬木村産業振興課 0265-33-5126
瀬戸の滝 (セトノタキ) 別名:不動滝	喬木村 加々須	加々須川	自然美に溢れた溪谷にかかる、四つの滝(魚止の滝、一の滝、不動滝、万年滝)を総称して瀬戸の滝と呼ぶ。 ◆中央道飯田 IC 車 40 分	
不動滝 (フドウダキ)	 豊丘村 壬生沢西	壬生沢川	不動尊を祀ることが名称の由来。その名に相応しく、飛沫を上げて一直線に流れ落ちる水の様は勇壮の一語 ◆中央道松川 IC 車 30 分	豊丘村産業建設課 0265-35-9056
新九郎の滝 (シンクロウノタキ)	豊丘村 神稲本谷	虻川	二段の岩場を流れ落ちる水の深山にこだまする瀑声は訪れる人の心を潤します。キャンパーの散策にも絶好! ◆中央道松川 IC 車 40 分	
樽本の滝 (タルモトノタキ)	大鹿村 鹿塩樽本	塩川	大きな岩と赤松の老木に囲まれた峡谷にある美しい滝。川の主の大きなアメノウオの伝説もある滝 ◆中央道松川 IC 車 45 分	大鹿村産業建設課 0265-39-2001